

「持続可能な社会の創り手」の育成を目指したカリキュラムマネジメント

【校訓】 「拓」の精神 「和合」の心

【学校教育目標】 考え深い子ども 心ゆたかな子ども たくましい子

【今年度の重点】 自分の考えをもつ力・自分を表現する力・人を大切にする力・チャレンジする力

豊かな人間性 認め合う 多様性

【数値目標】 (学校は楽しい90%以上)

- 1 大切な約束「相手が嫌だと思わない」の実践 【児童理解・いじめ】
- 2 様々な個性をもつ子どもが安心して学べる環境づくり 【特支・学年】
- 3 違いや多様性を認め合い、合意形成する学活(1) 系統的実践 【学活(1)】

健康・体力 大切な命・体

【数値目標】 (進んで遊びや運動に取り組む85%以上)

- 1 運動身体プログラム活用と体育授業の系統的指導 【体育】
- 2 体を動かしたくなる、遊びたくなる校内外の環境づくり 【体育】
- 3 安全・保健指導と行事等を関連付けた命への気付きの場の設定【体育・行事・学活】

資質・能力「学び大好き、学びに夢中」

【数値目標】 (学びを他教科・領域に生かす。90%以上)

何ができるようになるか
○学校教育の基本

- ① 自分の考えをもつ力
- ② 自分を表現する力
- ③ 人を大切にする力
- ④ チャレンジする力

何が身に付いたか
○学習評価を通じた学習指導の改善

- ① 人に左右されず、時には批判的な見方で、自分の考えをもとうとしている。
- ② 自分から、自分らしく、自分の言葉や方法で表現している。
- ③ 自分のよさや可能性を知り、あらゆる他者を価値ある存在と尊重している。
- ④ トライ&トライ精神で、何事にも、チャレンジしている。

子どもの思いや願い

- ・安心して学校生活を送りたい。
- ・いじめのない学校にしたい。

保護者や地域の思いや願い

- ・安心できる環境で学校生活を送らせたい。

子どもの発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子どもへの指導

～誰一人として取りこぼすことない学校
すべての子どもの学習権を保障する～

- ・子供が主語、子供が育つ
- ・大人は、子供の伴走者
- ・全職員が全校生の担任・チーム担当制

目指す子どもの姿

- 自分の考えをもつ子
- 自分らしく表現する子
- 自分も人も大切にする子
- 何事にも、チャレンジする子

何を学ぶか (汎用的資質・能力) ○教育課程編成

- 1 問題発見解決力 (問題見出し解決方法を探し計画、実行等)
- 2 情報活用能力(収集・整理・技術・モラル等)
- 3 言語活用能力(聞く・読む・書く・話す・語彙獲得・教科語句活用等)

どのように学ぶか ○教育課程の実施

- 1 教科等横断的な視点を生かした生活科・総合を核とした単元構想と探究的な学習の展開 【現職・生活・総合】
- 2 ICT機器を活用した授業の展開 【情報・各教科主任】
- 3 単元・授業の振り返りによる意味・価値付けの実践 【現職・学力】

実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 学び続ける教師集団 (校内研修・現職の実施―市教委委託2年次、校外研修への参加)
- 迅速、適切な対応・チーム対応 (SC・SSW・見守り隊・民生児童委員・児童相談所・子ども未来部 等)
- 地域住民・保護者・子供・教職員のみinnで創る「みんなの森合小」、森合小メンバー、森小デー

安心・安全を守る

- どの子にとっても安心な学校、教職員も幸せな学校
 - ・いじめ認知率100%、不登校0人、リーダー・イン・ミーの考え
- 校内外の環境整備、危機管理
 - ・整理・整頓・清潔・修繕等
 - ・危機対応マニュアルの活用

開かれた学校づくり

- 地域人材・教材を生かした学校づくり
 - ・森合小学区など地域の「人・もの・こと」
- 保護者・地域への積極的な情報発信
 - ・学校だより・HP・森小デー・授業参観等